

第2章 現況と災害の発生状況

第2章 現況と災害の発生状況

2.1 現況

2.1.1 人口・世帯数・面積

尾三消防本部、豊明市消防本部、長久手市消防本部の構成市町別の人口、世帯数及び面積は、表2.1.1のとおりである。

さらに、人口と世帯数分布をメッシュマップで示したものが、図2.1.1と図2.1.2である。

表2.1.1 人口※、世帯数※、面積

消 防 本 部	構 成 市 町	人 口 (人)	世 帯 数 (戸)	面 積 (km ²)	人 口 密 度 (人/km ²)
尾 三 消 防 本 部	日 進 市	88,537	35,214	34.91	2,536
	みよし市	60,506	23,520	32.19	1,880
	東 郷 町	43,040	16,743	18.30	2,352
	計	192,083	75,477	85.13	2,256
豊明市消防本部	豊 明 市	68,772	29,078	23.22	2,962
長久手市消防本部	長 久 手 市	55,943	22,630	21.55	2,596
合 計		316,798	127,185	129.90	2,439

※平成28年7月1日現在

2.1.2 中高層建物及び危険物施設

総務省消防庁が定める消防力の整備指針においては、「中高層建物の棟数」をはじめ車数、「危険物施設数」を化学車数の整備指標とされている。

構成地域の中高層建物の棟数及び危険物施設数は、表2.1.2のとおりである。それぞれの分布をメッシュマップで示したものが、図2.1.3及び図2.1.4である。

表2.1.2 構成地域の中高層建物棟数（3階建以上）及び危険物施設数

消 防 本 部	構 成 市 町	中 高 層 建 物 棟 数	危 険 物 施 設 数
尾 三 消 防 本 部	日 進 市	797	99
	みよし市	456	414
	東 郷 町	251	67
	計	1,504	580
豊明市消防本部	豊 明 市	679	137
長久手市消防本部	長 久 手 市	693	82
合 計		2,876	799

※平成28年4月1日現在

※中高層建物については、3消防本部が中高層火災として出動する対象建物

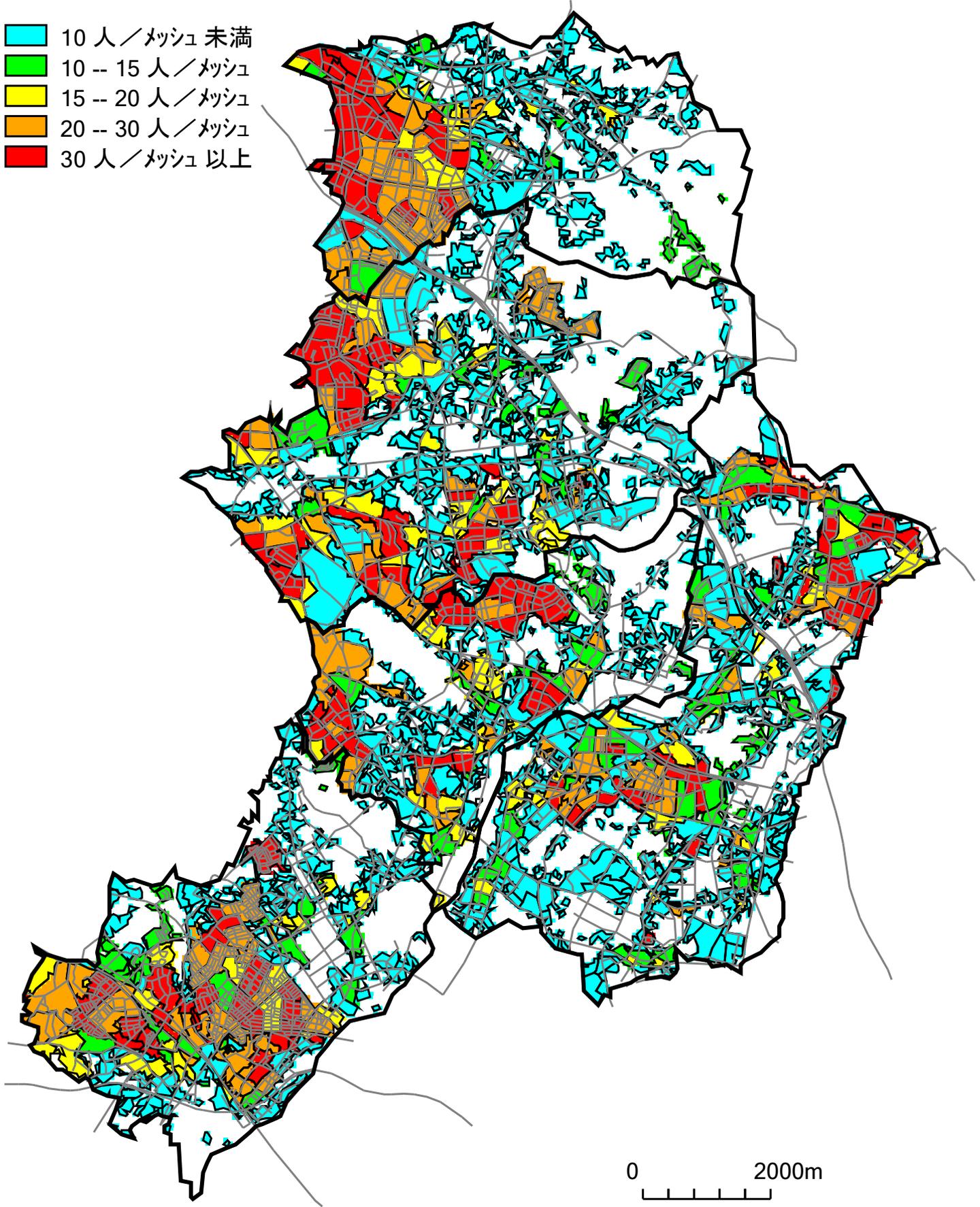


図 2.1.1 人口分布

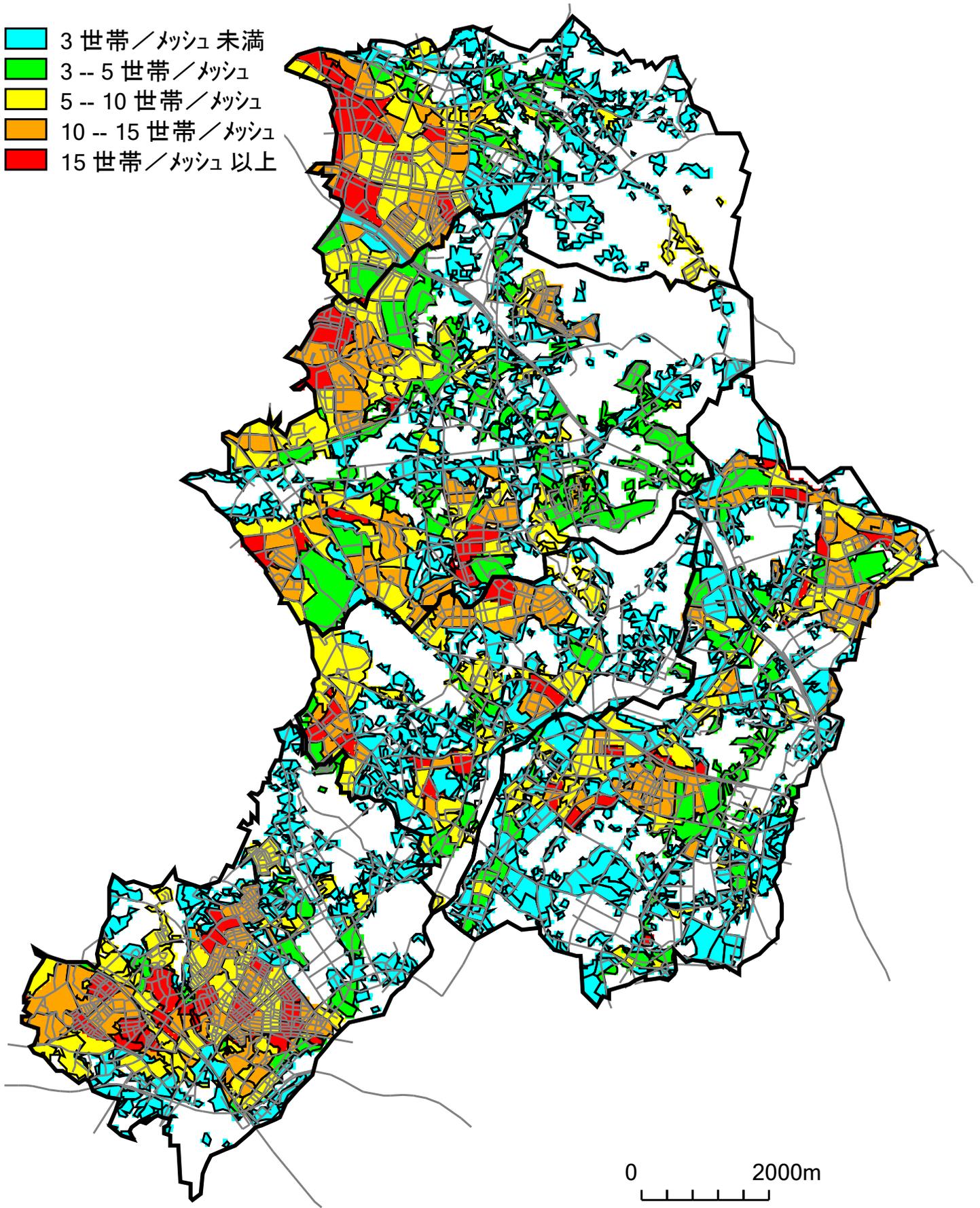


図 2.1.2 世帯数分布

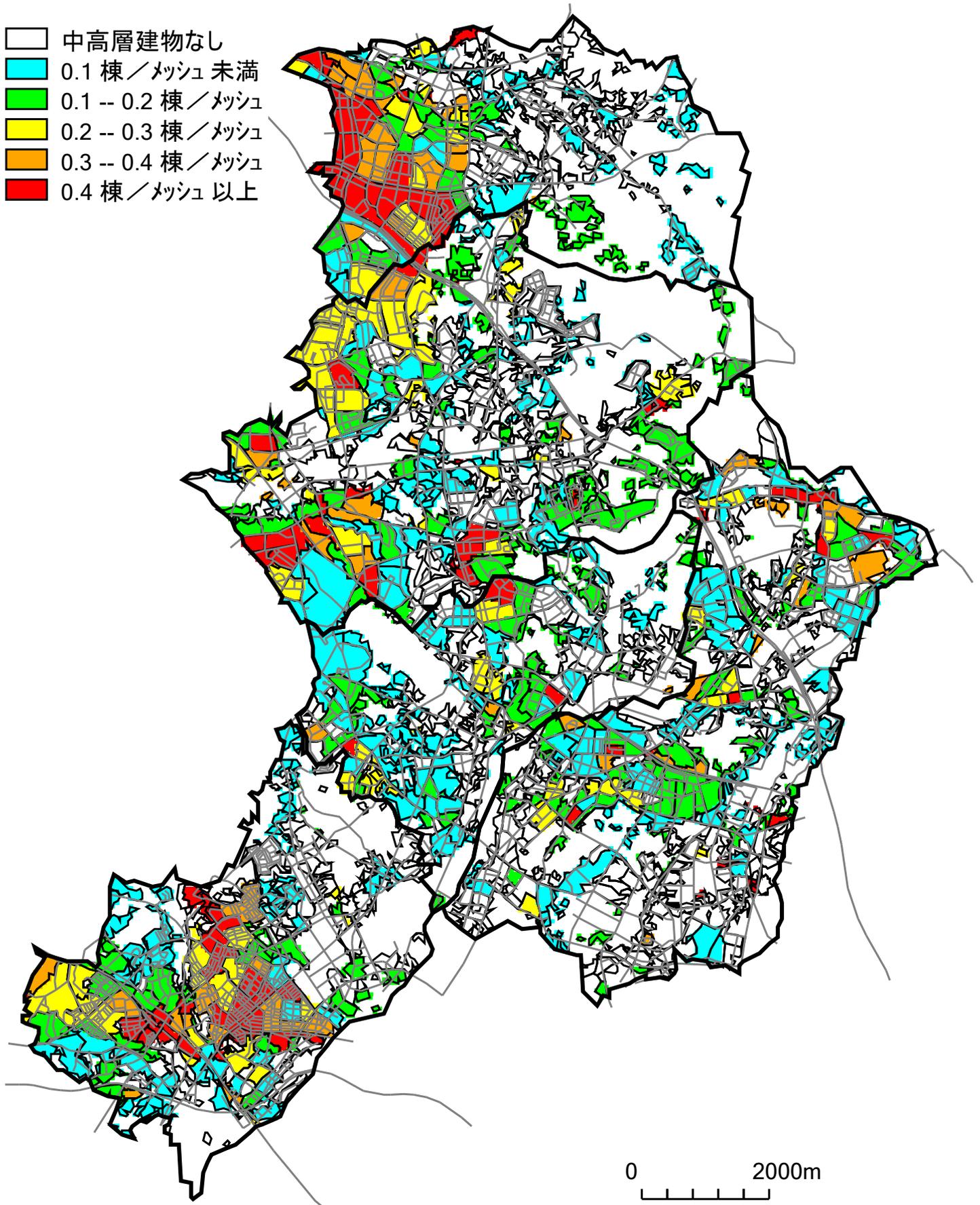


図 2.1.3 中高層建物分布 (3 階建以上)

- 危険物施設なし
- 0.05 施設／メッシュ 未満
- 0.05 -- 0.1 施設／メッシュ
- 0.1 -- 0.2 施設／メッシュ
- 0.2 施設／メッシュ 以上

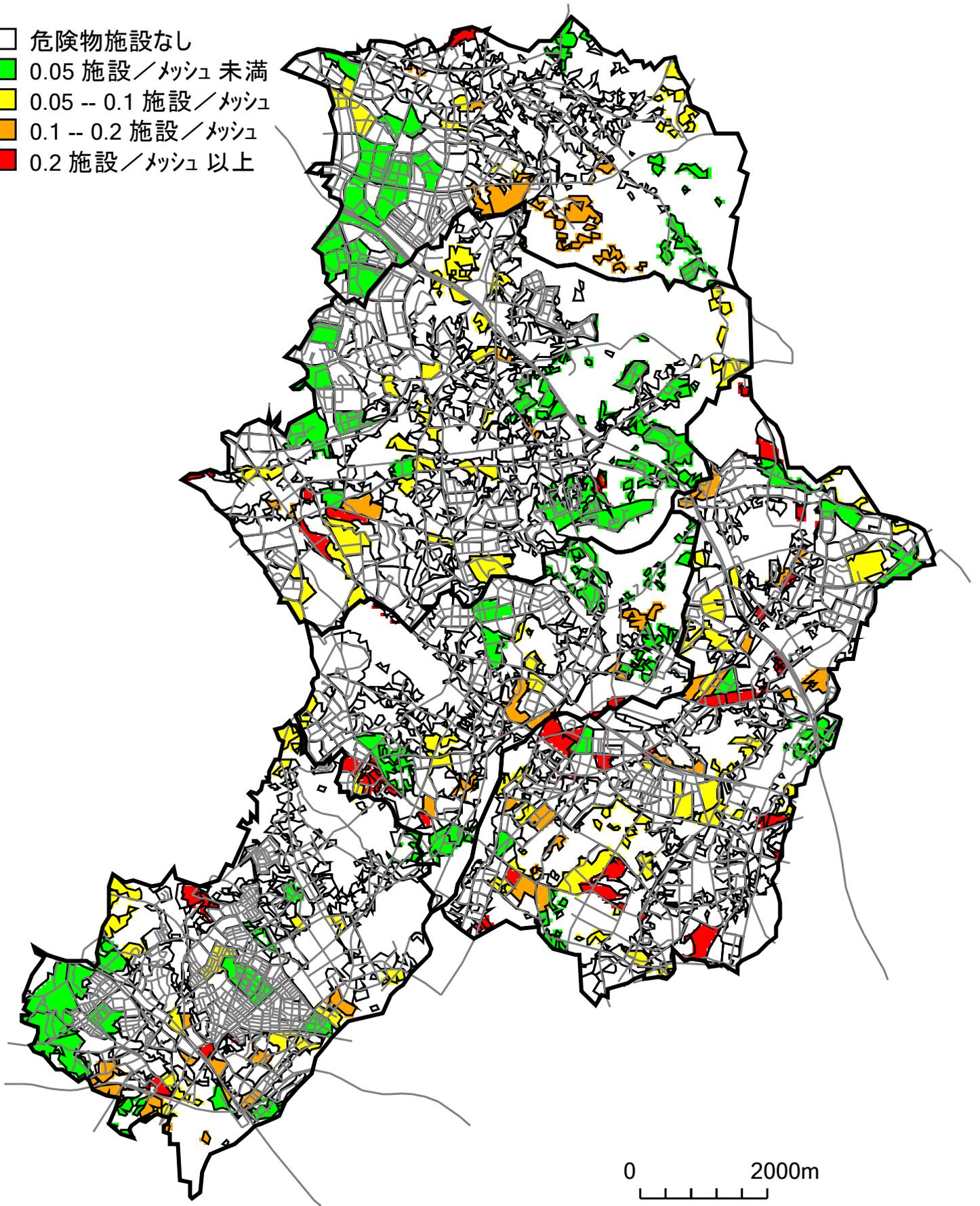


図 2.1.4 危険物施設分布

2.1.3 消防署所

現状の消防本部の組織における署所構成は、図2.1.5a～cのとおりである。
 これら各消防署所の位置は図2.1.6のとおりである。

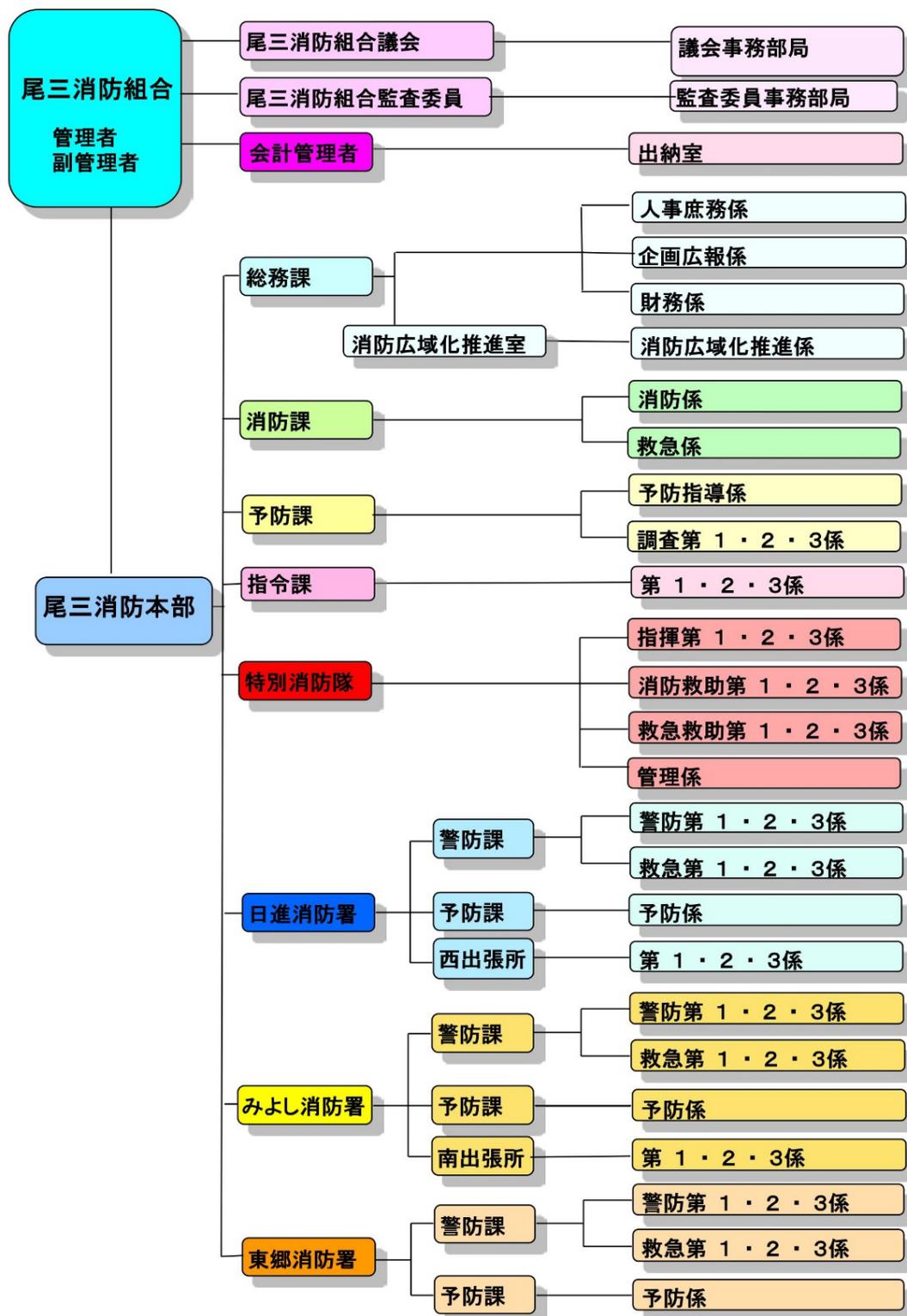


図2.1.5a 尾三消防組合の組織図

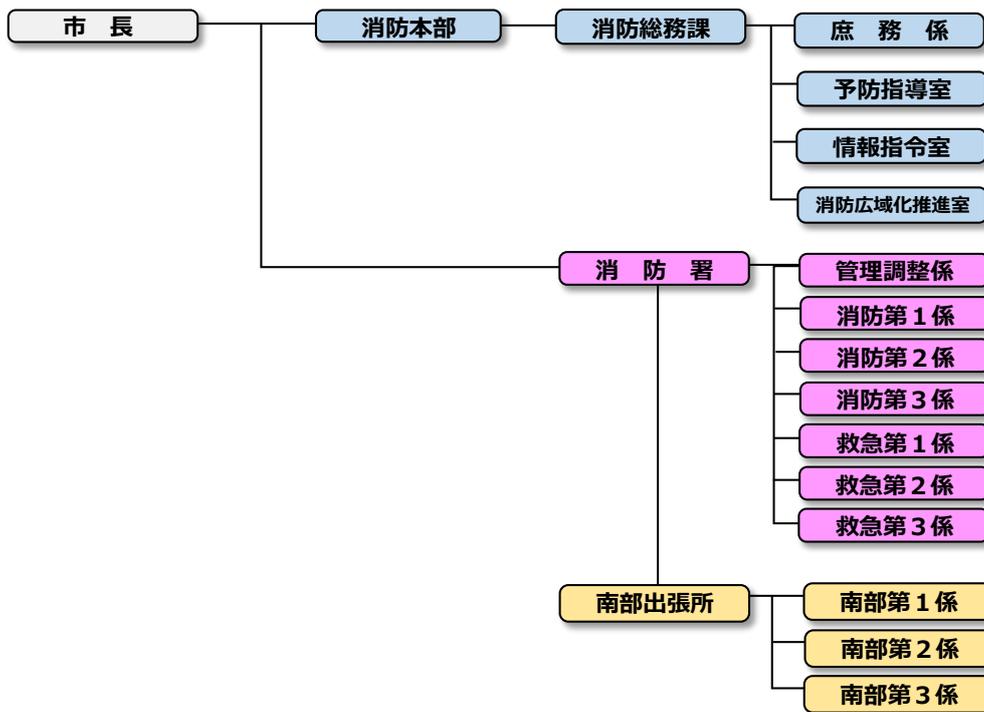


図2.1.5b 豊明市消防本部の組織図

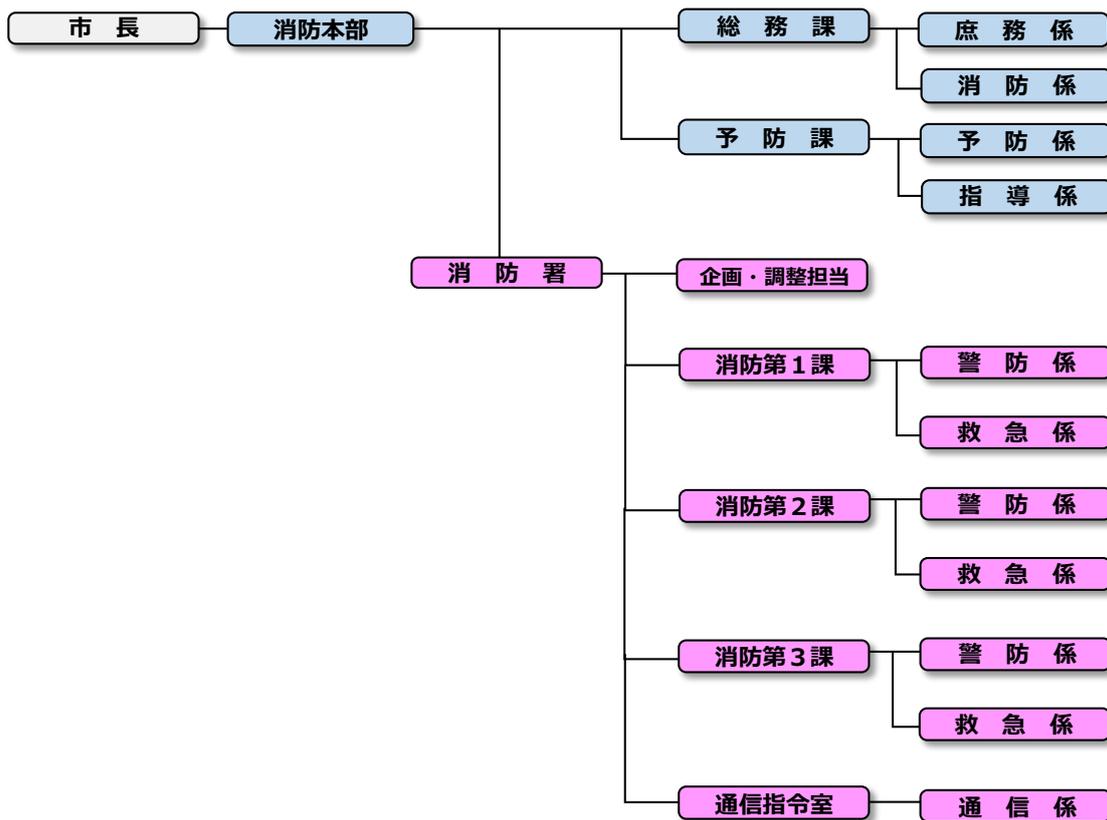


図2.1.5c 長久手市消防本部の組織図

2.1.4 道路

主要道路の状況は、図2.1.6に示すとおりである。道路ネットワークは、消防車両が実際に走行できる速度として3つの区分（時速20km、30km及び40km）に分類した。

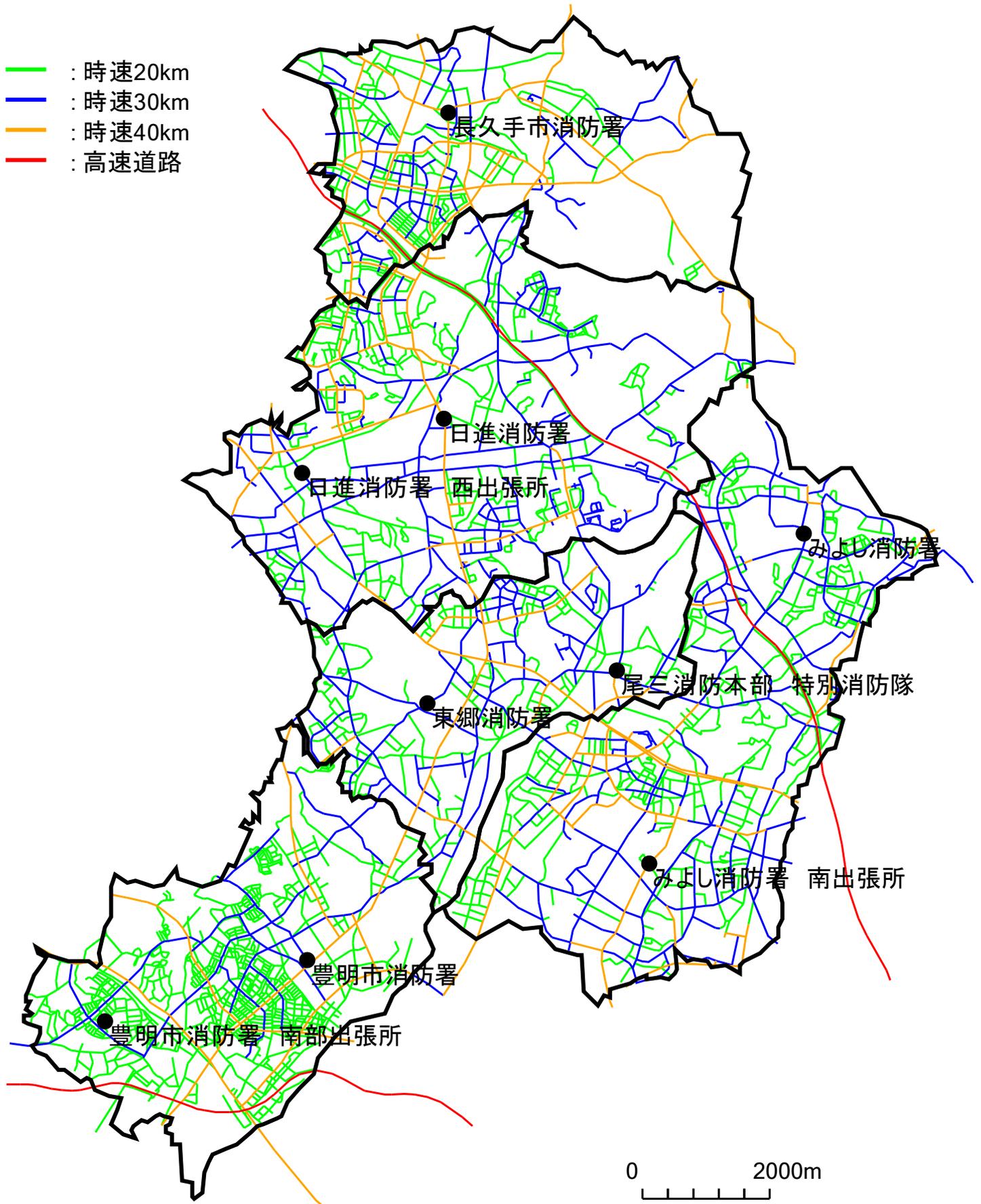


図 2.1.6 道路状況と署所位置

2.2 災害の発生状況

過去の火災、救急、救助件数は表2.2.1のとおりである。

表2.2.1 火災件数、救急件数、救助件数

消 防 本 部	構 成 市 町	火災件数(全火災)		救急件数	救助件数
		(内)建物火災			
尾 三 消 防 本 部	日 進 市	66	161	8,154	141
	みよし市	45	136	5,366	110
	東 郷 町	39	101	4,109	98
	計	150	398	17,629	349
豊明市消防本部	豊 明 市	44	127	8,320	133
長久手市消防本部	長 久 手 市	29	76	5,082	109
合 計		223	601	31,031	591

※火災件数は過去5年、救急件数は過去3年、救助件数は過去5年間の統計値。

2.2.1 火災の発生状況

過去5年間に発生した火災件数の分布をメッシュ図で示したものが図2.2.1である。

2.2.2 救急事案の発生状況

過去3年間に発生した救急件数の分布をメッシュ図で示したものが図2.2.2である。

また、平成27年中の各救急隊の出動件数と平均出動時間(出動～現場到着までの時間)及び平均活動時間(出動～帰署までの時間)は表2.2.2のとおりである。

表2.2.2 各救急隊の出動件数

署 所 名 称	隊 数	出 動 件 数 (件)	出 動 時 間 (分)	活 動 時 間 (分)
長久手市消防署	2	1,784	4.9	62
尾三消防本部特別消防隊	1	971	5.2	71
日進消防署	1	1,518	5.3	64
日進消防署 西出張所	1	1,021	5.1	62
みよし消防署	1	798	4.8	61
みよし消防署 南出張所	1	685	4.6	71
東郷消防署	1	1,144	5.2	66
豊明市消防署	2	1,890	4.3	56
豊明市消防署 南部出張所	1	928	3.2	62
合 計 ・ 平 均 *	11	10,739	4.8	63

※全体の平均出動時間及び平均活動時間(一番下の欄)は、署所ごとに「出動時間と出動件数を乗じた「加重平均」を求めたものである。

2.2.3 救助事案の発生状況

過去5年間に発生した救助件数の分布をメッシュ図で示したものが図2.2.3である。

- 0.001 件 / メッシュ 未満
- 0.001 -- 0.003 件 / メッシュ
- 0.003 -- 0.005 件 / メッシュ
- 0.005 -- 0.01 件 / メッシュ
- 0.01 -- 0.015 件 / メッシュ
- 0.015 件 / メッシュ 以上

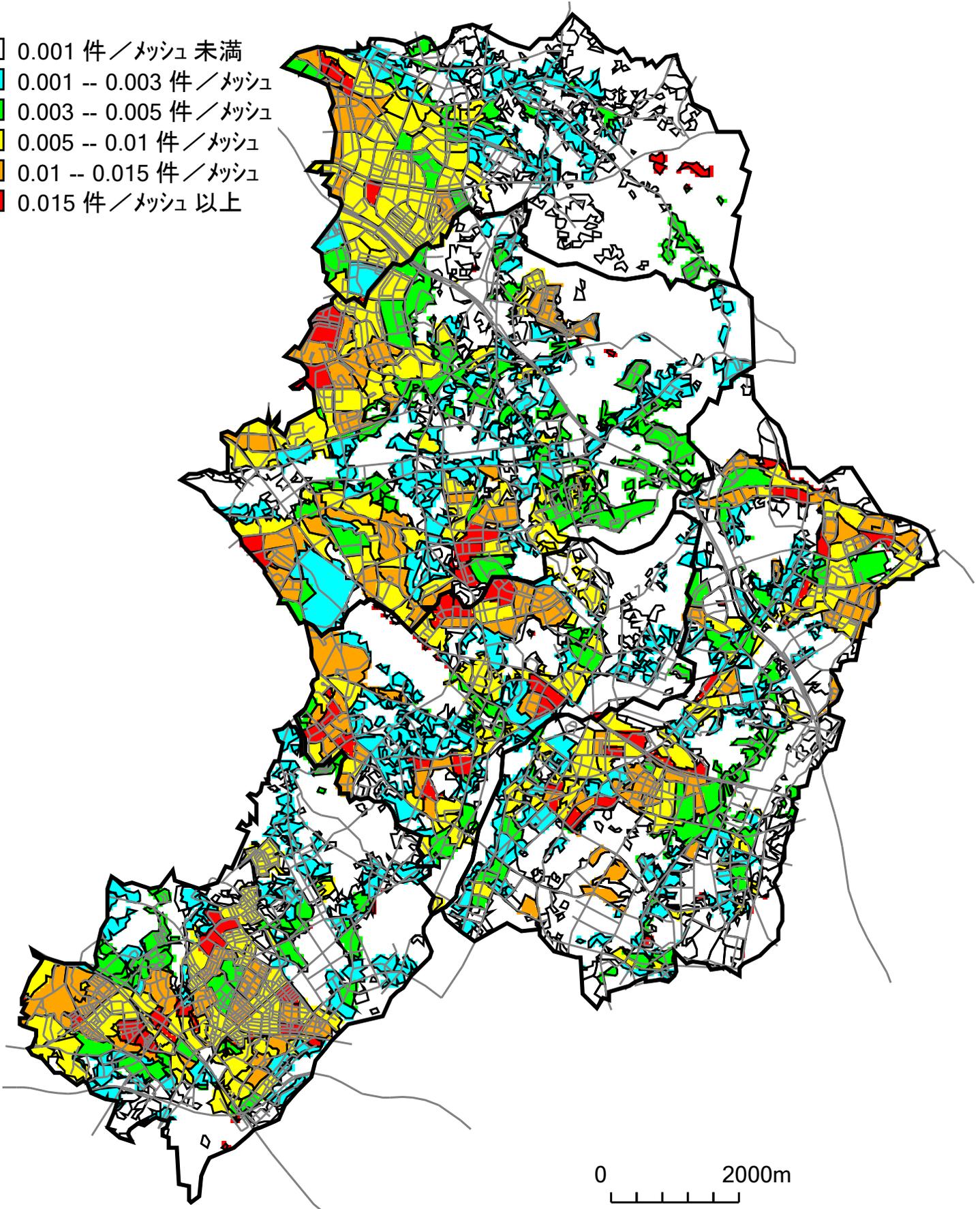


図 2.2.1 火災の件数分布 (全火災)

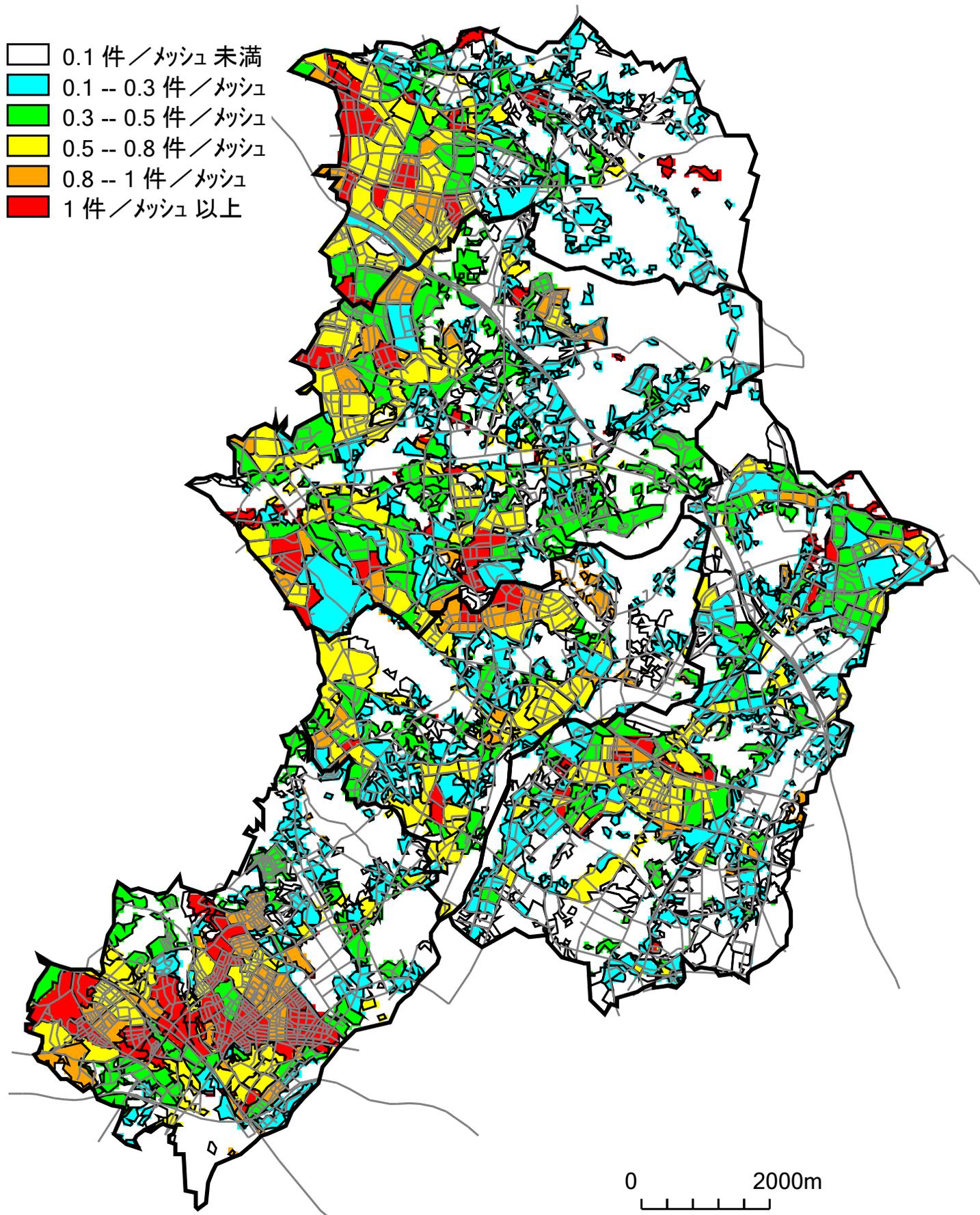


図 2.2.2 救急事案の件数分布

- 0.001 件 / メッシュ 未満
- 0.001 -- 0.005 件 / メッシュ
- 0.005 -- 0.01 件 / メッシュ
- 0.01 -- 0.02 件 / メッシュ
- 0.02 -- 0.03 件 / メッシュ
- 0.03 件 / メッシュ 以上

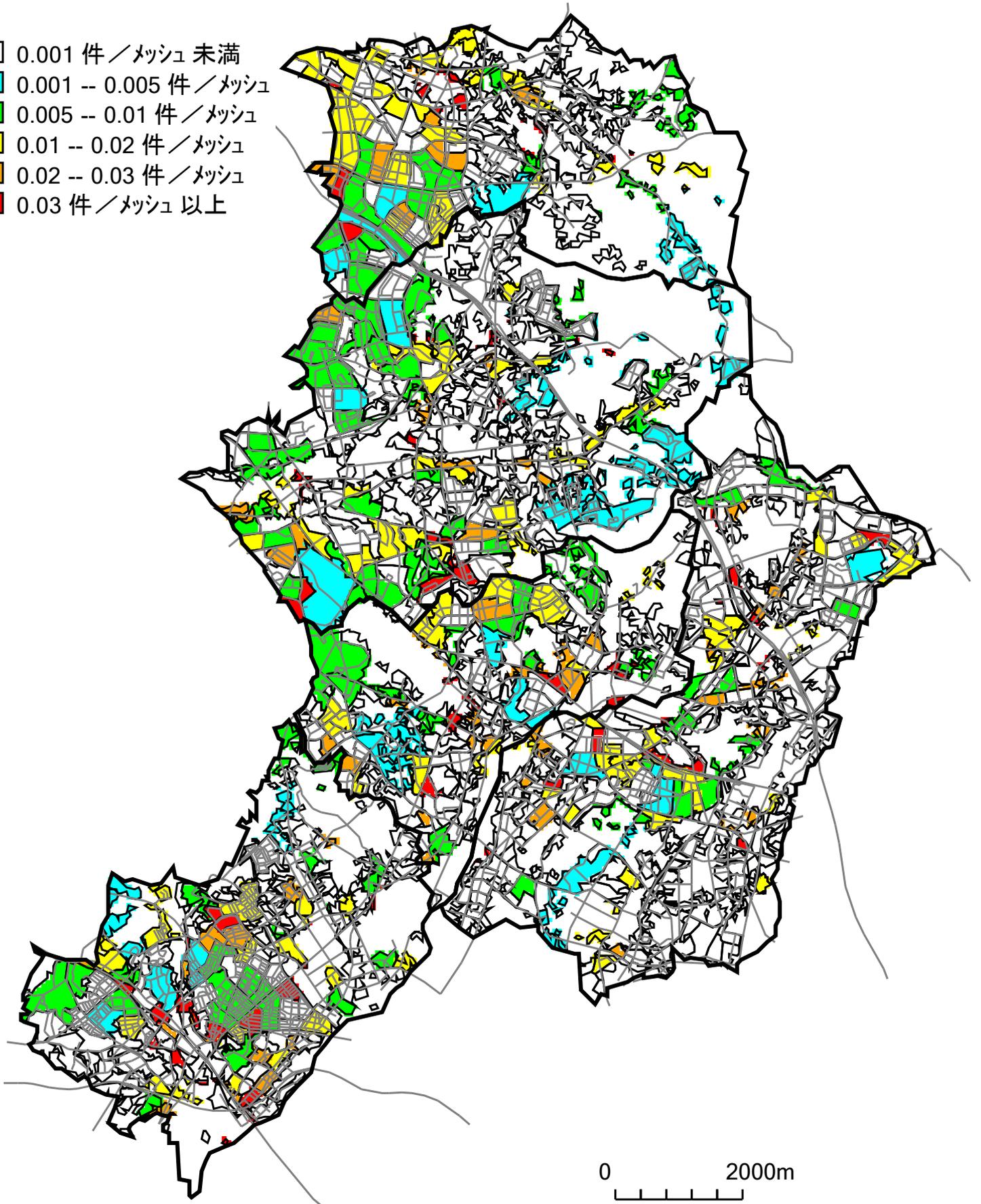


図 2.2.3 救助事案の件数分布

2.2.4 消防需要の指標化

消防署所の配置検討にあたり、消防需要の指標値を用いる。

全域の消防需要の指標値は、火災指標値の総和が50,000、救急事案の総和が50,000とし、集計値が100,000となるものとし、地区毎の消防需要の指標値は、下記のように、地区の火災と救急件数に応じて指標値を按分している。

○地区の火災需要指標値 = 50,000 × 地区の火災算定値* / 管内全体の火災件数

* 地区の火災算定値 = 市町の火災件数 × 地区の世帯数 / 市町の世帯数

○地区の救急需要指標値 = 50,000 × 地区の救急件数 / 管内全体の救急件数

※地区の火災算定値：救急件数と比べて火災件数は少なく、また火災の発生していない地区もあるため、地区の火災件数を消防需要の指標として按分するに当たり、「地区の火災件数」でなく、火災発生と関連が深い世帯数で按分した「地区の火災算定値」を用いることとしている。こうした考えに基づき算定した構成市町の指標値は表2.2.2、地区別の分布をメッシュ図で示したものが図2.2.4である。

表2.2.2 消防需要の指標値

構成市町	火災件数及び世帯数			救急件数		消防需要指標値
	火災(件)	世帯数(戸)	指標値	実数(件)	指標値	
日進市	161	35,043	13,393	8,154	13,138	26,533
みよし市	136	23,118	11,315	5,366	8,646	19,961
東郷町	101	16,666	8,403	4,109	6,621	15,024
豊明市	127	29,078	10,566	8,320	13,406	23,972
長久手市	76	22,630	6,323	5,082	8,189	14,510
合計	601	126,535	50,000	31,031	50,000	100,000

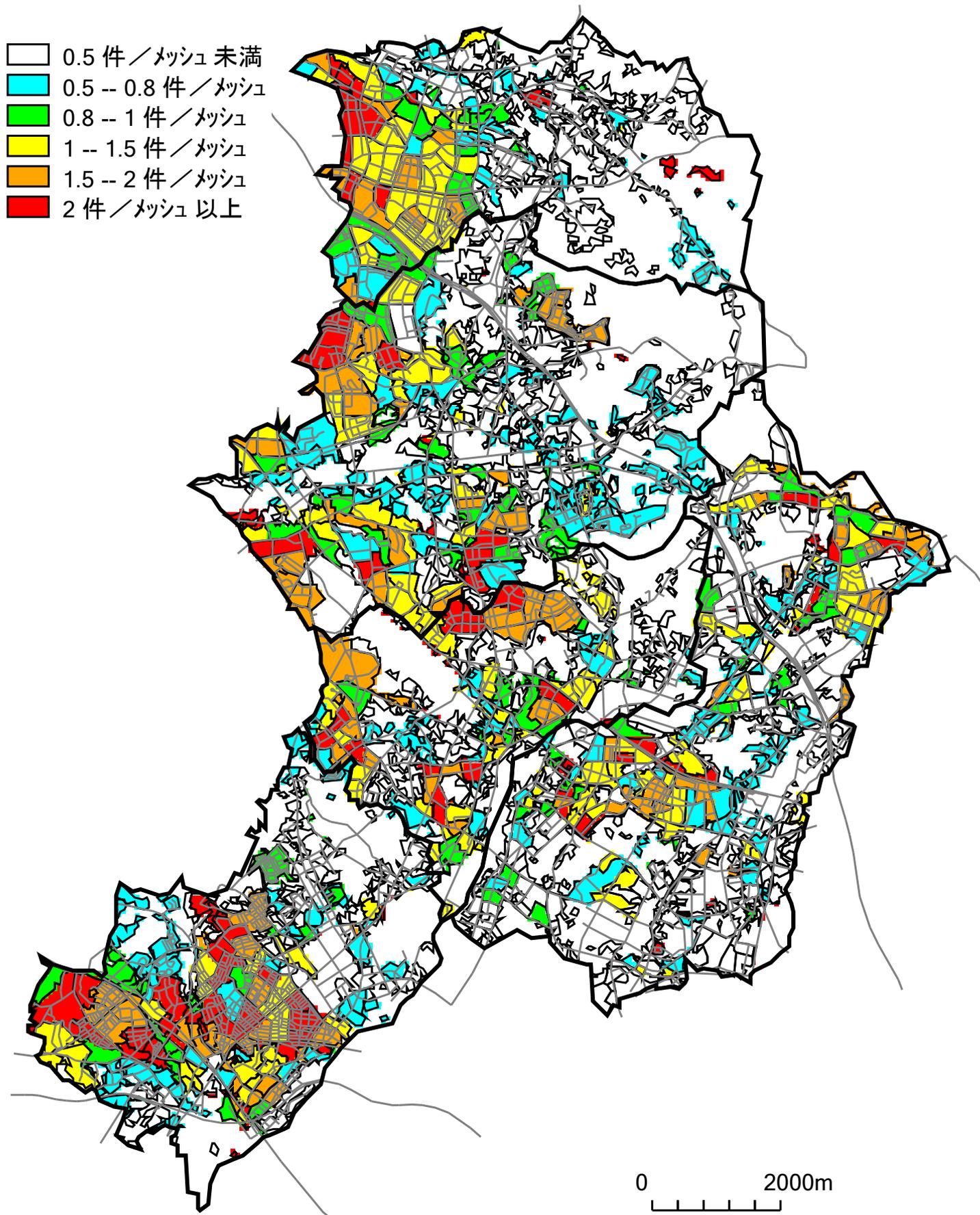


図 2.2.4 消防需要指標値の分布